



ジョブローテーションの地本要求を実現し、 ハラスメントのない安全で働き甲斐のある職場 をつくり、組合員と共に組織の信頼回復と 組織強化・拡大を実現する 10・10集会 開催！

10月10日、生涯学習センターにて集会を開催し、約80名の組合員が結集しました。

集会では地本からの問題提起に踏まえて全体討論が行われました。ジョブローテーションなどの施策に対しては団体交渉での確認事項、社会情勢を踏まえた上で一人ひとりが自らの将来を考え、施策を「創る・担う」立場で臨むことを確認する一方、職場ではハラスメント行為によって安心して働けないとの報告や、多発する台風等の災害に対する問題点など、数多くの職場現実が発言されました。今後、2020年に控えた東京オリ・パラ輸送を安全で安心して担うためには、諸課題の解決を通じて、現場で働く組合員・社員の不安を払拭することが重要です。

集会のまとめでは、課題の解決に向け、緊急申入れで支社と議論し認識一致を目指す。解決するためには組織の強化・拡大が重要。東労組への結集を皆で取り組んでいくことを確認し、成功裏に終了しました。※ジョブは別途申入れます

申4号「災害に強く、安心して働ける職場風土を創ることを通じて、 東京オリンピック・パラリンピックを安全輸送で担うための緊急申し入れ」要求項目

1. 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた、輸送体系及び人員配置など、想定し準備していることを明らかにすること。なお、他社線を含む輸送障害発生時には大変な混雑が見込まれることから、対応策を講じること。
2. 職場で発生している組合員への差別や、コンプライアンス違反と捉えられる言動および行動を是正し、信頼関係の構築と安心して働ける環境を整えること。
3. 運輸職場で事故・事象が発生した場合の教育訓練については、日勤による教育ではなく、乗務を行いながらの実践的な訓練とし、復帰に向けて誰もが納得感と安心感のもてる教育体制を構築すること。
4. 「ライフサイクルの深度化」制度で駅に異動した組合員については、ライフサイクルの深度化に関する覚書を遵守して実施すること。
5. 台風15号に伴い多くの課題が生じたことから、次なる災害に備え下記のとおり改善すること。
 - ①災害発生時においては、組合員・家族の安否確認を実施すること。
 - ②JR用送電網の強化・増設や非常用発電機等の整備を通じて、災害時においても停電・断水・通信障害がなく、各職場の機能を維持できる体制をつくること。
 - ③災害発生時における現場判断については、各現場である程度の統一性を持たせた上で、柔軟に対応できるようにすること。
 - ④災害発生時における出勤時の連絡方法および出退勤時の交通手段の指示を明確にすること。なお、出勤の指示にあたっては組合員自身の被災状況を考慮すること。
 - ⑤乗泊や出先地で通信機器が使用できない場合の連絡手段を確保すること。
 - ⑥運転再開予定時刻および運転計画の決定にあたっては無理のない計画を立て、最低限の休憩時間・食事時間を確保し組合員の疲労回復と労働災害の防止に努めること。
 - ⑦お客さまに対する運転再開予定時刻の発表にあたっては、運転再開が確実に可能な状態となってから発信することとし、不確定な「見込み」の段階での発表は行わないこと。
 - ⑧確認列車走行時に倒木や飛来物が多数発見され、その除去のための線路閉鎖手続きに時間を要し悪天候の中で設備社員を待機させたことから、運転再開にあたっては事前にルールスター等による線路状態の確認を行い、障害物の除去等を確実に行ってから線路閉鎖を解除し、確認列車を走らせること。

安全で安心して働ける職場にするため、東労組は団体交渉で問題解決を目指します！